



特別陳列

# 「60年前の記憶 遙かなる遠山郷」

—塚原琢哉写真と下栗の民俗—

昭和33年(1958)、東京育ちの写真青年の目を通して記録された遠山郷下栗の生活。

60年の時を経て、今よみがえる「天空の里」の暮らし。

笑顔、絆、山、畑、祭り…。あなたも立ち止まってみませんか。

**会期:令和元年9月7日(日)～11月4日(休)**

**会場:飯田市美術博物館**

協力/上村下栗自治会・上村公民館 後援/信濃毎日新聞社



  
iida city museum  
飯田市美術博物館

〒395-0034  
長野県飯田市追手町 2-655-7  
TEL.0265-22-8118  
FAX.0265-22-5252  
<http://www.iida-museum.org/>

開館時間:午前9時半～午後5時(受付は午後4時半で終了)

休館日:月曜日(祝日の場合は開館)、祝日の翌日

9/16・23、10/14、11/4は開館

9/17・24、10/15・23は休館

観覧料:一般310円(210円) 高校生200円(150円) 小中学生100円(80円)

関連展示:上村展(まつり伝承館天伯)

11月16日(土)～12月15日(日) [月曜日と木曜日は休館]

## 特別陳列

# 「60年前の記憶 遙かなる遠山郷 —塚原琢哉写真と下栗の民俗—」

協力／上村下栗自治会・上村公民館 後援／信濃毎日新聞社



いずれも塚原琢哉撮影

1958(昭和33)年、日本大学芸術学部で写真専攻の学生だった塚原琢哉氏は、遠山郷下栗(現飯田市上村下栗)に春・夏計40日間、入って集落と人びとの生活を撮影しました。その膨大な写真は、日本屈指の山村である下栗の60年前の姿を克明に捉えた、貴重な記録です。

長く未公開のままでしたが、2017年に写真集『60年前の記憶 遙かなる遠山郷』が出版され、東京で個展も開催され、多くの人たちに感動を呼び起こしました。

本展覧会は、それら写真をとおして、60年前の遠山郷下栗の姿を振り返るとともに、民俗や景観の変化を追い、山村が持っていた文化と、現状について考えます。

## 観覧料

一般310円(210円) 高校生200円(150円) 小中学生100円(80円)

## 附属事業

### ① 講演会「遙かなる遠山郷の記憶と民俗」

講師：塚原琢哉氏(写真家)・櫻井弘人(本館学芸員)

期日：9月29日(日)13:30~16:00

### ② 見学会「遠山郷下栗を体感する」

講師：野牧和将氏(下栗案内人の会)・下栗自治会の皆さん・塚原琢哉氏・櫻井弘人

期日：10月6日(日)9:00~16:00

定員：18名 \*申込み：往復葉書にて9月29日まで(定員を越えた場合は抽選になります)

### ③ プラネタリウムオリジナル番組「遠山霜月祭～太陽と命のよみがえり～」・展示解説会

期日：9月22日(日)・29日(日)\*、10月6日(日)\*・14日(月祝)

プラネタリウム上映 16:00~16:20 展示解説会 15:20~15:50 (\*はなし)

観覧・聴講：観覧券が必要です。

## 関連事業

### ① 上村展「60年前の記憶 遙かなる遠山郷—塚原琢哉写真と下栗の民俗—」

会場：まつり伝承館天伯

会期：11月16日(土)~12月15日(日)(月曜日と木曜日は休館)

観覧料：一般200円 小中学生100円

### ② 第3回伊那民俗研究集会「残された写真から地域の民俗を読み解く」

内容：民俗写真の収集保存・活用について考える

(くわしくは柳田國男記念伊那民俗学研究所HP・チラシをご覧ください)

期日：10月13日(日)13:30~16:50、10月14日(月祝)10:00~15:00



### 上村山村文化資源保存伝習施設「まつり伝承館天伯」

交通／JR飯田駅からバスにて70分

中央自動車道飯田ICより車で50分

